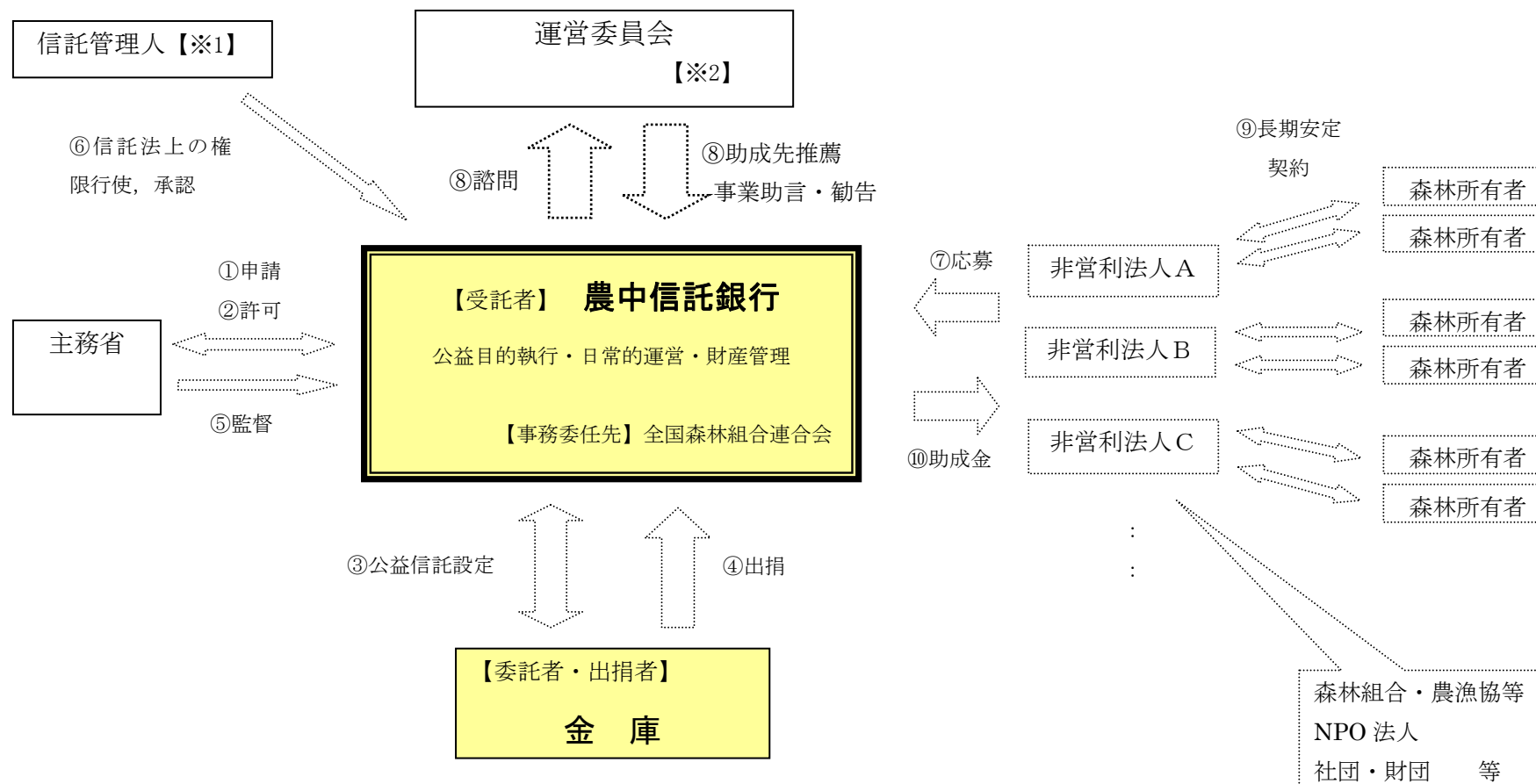


森林再生基金 (FRONT80) の概要

- 1 名 称 : 公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金
- 2 区 分 : 特定公益信託
- 3 委託信託銀行 : 農中信託銀行株式会社
- 4 目 的 : 国内の荒廃した民有林の再生により森林の公益性を発揮させることを目指した活動に対して助成し、もって森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的とする。
- 5 助成対象事業 : 国内の荒廃した民有林の公益性を発揮させることを目的とした活動であって、地域の森林に対する長期ビジョンをもった活動で、かつ費用対効果に十分配慮した創造性が高いと認められる以下の事業。
 - ・複数の森林所有者との長期安定的な契約に基づく、ひとまとまりとなった荒廃林の再生活動（多面的機能の向上を目指した利用間伐・切捨て間伐、被害森林の整理伐・更新、天然更新のための択伐等の施業を条件とする。）
 - ・上記に附帯する林地境界確定、林地調査、不在村者調査等
 - ・その他目的を達成するために必要な事業
- 6 助成対象者 : 営利を目的としない法人で、過去の活動歴等からみて本活動を運営するに十分な能力、知見を有する団体(ただし、地方公共団体を除く。)
- 7 選考方法 : 運営委員会における当基金の趣旨、目的に照らした活動内容・活動効果の大小等についての総合的な審査を経て選定する。
- 8 信託財産等
 - (1) 当初信託財産 : 1,000 百万円
 - (2) 信託財産取崩しにより、年間 100 百万円を目処に助成(単年度助成で一団体あたり上限金額は 30 百万円、複数年助成を希望する場合は毎年度申請し審査を経る。)

以 上

森林再生基金の（FRONT80）のスキーム図



【※1】 不特定多数の受益者の代表として、受託者の職務執行を監督し、重要事項を承認する。

【※2】 公益目的遂行のため助成先の推薦や公益信託の事業遂行について助言・勧告を行う。学識経験者数名で構成。

森林再生基金(FRONT80)の助成先一覧(平成17～24年度)

NO	区分	助成団体名	都道府県	事業名
1	17年度	雄勝広域森林組合	秋田県	ゆーとびあ 雄湯郷森林境界再現保存整備事業
2	(第1回)	加子母森林組合	岐阜県	びりんばんせいこれまたやさず 『美林萬世之不滅』の山づくり
3		三次地方森林組合	広島県	森林組合型「森林経営信託モデル事業」
4		新居(いしづち)森林組合	愛媛県	森林再生化事業(長期施業委託)
5		18年度	金山町森林組合	山形県
6	(第2回)	東白川村森林組合	岐阜県	急傾斜地森林経営環境整備事業
7		真庭森林組合	岡山県	低コスト施業とバイオマス活用で進める低質林改良モデル事業
8		美馬森林組合	徳島県	「調和の森」造成事業
9		南那珂森林組合	宮崎県	再生！ 飼肥林業(森林データベースの構築による高付加価値材の生産と森林管理)
10	19年度	森林組合あおもり	青森県	ヒバの天然更新を生かす路網整備による循環型の森づくり事業－平内町夏泊半島地区における持続的林業経営の確立－
11	(第3回)	飯伊森林組合	長野県	里山の森林再生事業 ～マツクイ被害からの再生～
12		NPO法人山里の暮らしと豊かな森を守る会	長野県	わがふる里のもり再生整備事業
13		三次地方森林組合, 上布野生産森林組合	広島県	森林組合型「経営信託モデル事業」ステップ 生産森林組合再生プログラム
14	20年度	富山県西部森林組合	富山県	未来へつなぐ 里山再生プロジェクト
15	(第4回)	松阪飯南森林組合	三重県	林地残材を有価に －低コスト生産システムの構築と分析－
16		生栖生産森林組合	兵庫県	大橋式作業道による「壊れにくい作業道開設」事業の実践
17		日南町森林組合	鳥取県	循環型林業地の形成 ～林業収入の安定的確保～
18	21年度	多野東部森林組合	群馬県	林業の未来に向けて ～将来に繋がる森林づくり～
19	(第5回)	上伊那森林組合	長野県	マツ林再生による地域林業活性化事業
20		静岡県森林組合連合会	静岡県	森林組合未組織地域における低コスト作業システムの推進
21		津山市森林組合	岡山県	広戸地域水源林再生事業 ～価値ある森林を後世に継承するために～
22		いしづち森林組合	愛媛県	温航知森！ 過去の航空写真を使った森林境界明確化事業

23	22年度 (第6回)	北信州森林組合	長野県	デジタル森林管理 ～森林経営の再生を目指して～
24		NPO法人杣の杜 学舎	岐阜県	美濃市ふくべの森入会林野再生モデル事業
25		中勢森林組合	三重県	森林ブーイングによる多様で健全な森林づくり事業
26		吉野林業協同組合	奈良県	川上村下多古峰の平 作業道作成工事及び周辺間伐事業
27		熊本県森林組合連合会	熊本県	熊本市西部域民有林の森林境界明確化と森林の保全対策
28		曾於地区森林組合	鹿児島県	ふるさとの森再生事業 ～台風被害からの復活～
29	23年度 (第7回)	北都留森林組合	山梨県	北都留森林組合森林・林業・山村再生プラン～生業(なりわい)としての林業への挑戦～
30		中濃森林組合	岐阜県	多様性をもった里山森林整備モデル林の造成
31		可茂森林組合	岐阜県	集落周辺の里山未整備森林再生プロジェクト
32		龍神村森林組合	和歌山県	新天地開拓モデル事業～翔(はばた)く「龍神材」谷を越える～
33		しまね東部森林組合	島根県	水源林における集約化施業による利用間伐の推進
34		愛媛県森林組合連合会	愛媛県	地域連携で取り組む「風早(かざはや)の森」再生事業
35		久万広域森林組合	愛媛県	利用間伐への転換のための木材生産検証事業
36		香美森林組合	高知県	地域森林資源の管理者を目指して～限界集落の守り香美～
37	24年度 (第8回)	鶴居村森林組合	北海道	低コストでつくる林業専用道と作業システム(水土保持に配慮して)
38		石巻地区森林組合	宮城県	「復興の森林(もり)プロジェクト」～木質バイオマス資源(C・D材)の活用による林業復興～
39		福井市森林組合	福井県	里山再生事業と龍興寺跡の融合で地域活性化～朝倉氏族の遺跡～
40		長野森林組合	長野県	カシノナガキクイムシから守る！～野尻湖の豊かな里山林再生事業～
41		富士森林組合	静岡県	「生産量増加を目指す段階」としての富士プロ第2ステージの構築に向けて
42		大阪府森林組合	大阪府	多様な木材利用による里山の資源循環モデルの構築
43		吉野きたやま森林組合	奈良県	急傾斜地における作業道開設と施業集約化モデル実証事業
44		NPO法人土佐の森・救援隊	高知県	自伐林業方式『集落営林型』確立による、民有林再生モデル事業の展開
45		鹿児島県森林組合連合会	鹿児島県	急傾斜地区における災害に強い森林づくり

○森林再生基金（第9回）助成決定案件の概要等

助成対象先	事業の概要と評価のポイント
<p>おおたわらし 大田原市森林組合 (栃木県)</p> <p>対象地面積 257ha</p>	<p>事業名： 低コスト作業道開設による作業システム構築とバイオマス活用の推進</p> <p>当地域は、36年前の大規模な林野火災（約1,500ha消失）跡地に造成された比較的若齢の人工林が主体で、そのほとんどが製材用材に向かない低質な丸太生産となることなどから、間伐が行なわれず過密化し、荒廃が進みつつある。</p> <p>当事業では、低コストでの作業道開設による作業システムの構築と、大型集成材工場や木質バイオマス発電所等への多様な販売ルートを開拓し、これらのデータ収集・検証を行い、今後の森林施業のモデル林とすることで、森林所有者の関心を高め、地域の搬出間伐を推進するという取組みが評価された。</p>
<p>ちゅうえつ 中越よつば森林組合 (新潟県)</p> <p>対象地面積 46ha</p>	<p>事業名： ゆきぐに「越後長岡」林業再生プロジェクト</p> <p>当地域は、豪雪地帯で、戦後地域ぐるみで積極的に拡大造林が行われ、高い人工林率となっているが、軟弱な粘土質土壌等で作業道の整備が遅れていることから、近年、未整備森林が急増し地域の抱える深刻な課題となっている。</p> <p>当事業では、当地域に適した簡易で丈夫な作業道を開設するとともに、木質バイオマスにも対応した低コストで、効率的な作業システムを確立し、ゆきぐに「越後長岡」における林業再生のモデル団地として普及啓発、地域林業の活性化を図るという取組みが評価された。</p>
<p>しんしゅうじょうしょう 信州上小森林組合 (長野県)</p> <p>対象地面積 340ha</p>	<p>事業名： 甦れ！十観山周辺林業再生プロジェクト</p> <p>当地域は、そのほとんどが35～60年生の緊急に間伐を行うべき森林であるにもかかわらず、急傾斜地であることに加え、森林所有者の高齢化や世代交代等もあり、森林経営への関心が低く管理が放棄され、荒廃が進んでいる。</p> <p>当事業では、境界・森林情報をGISに蓄積するとともに、急傾斜地における高性能林業機械と高密路網の組合せによる低コスト作業システムを構築し、その作業システムのデータ収集・分析、マニュアル化を行い、次世代に向けた持続可能な森林経営を目指すという取組みが評価された。</p>
<p>とつかわむら 十津川村森林組合 (奈良県)</p> <p>対象地面積 130ha</p>	<p>事業名： 災害に強い基幹路網整備を基盤とした森林資源活用モデル事業</p> <p>当地域は、急傾斜地、台風の常襲地帯で、平成23年9月の台風12号による「紀伊半島大水害」に遭ったことなどから、林業用路網の開設には慎重論があり、路網密度が依然として低く、荒廃森林の整備が進まない状況にある。</p> <p>当事業では、成熟期にある森林資源の活用を促進するため、より壊れにくい災害に強い道作り、急傾斜地におけるタワーヤードによる中距離架線集材システムの構築（そのコスト分析・検証を含む。）を行い、今後の森林整備促進のモデルとすることを旨とするという取組みが評価された。</p>
<p>おきどうぜん 隠岐島前森林組合 (島根県)</p> <p>対象地面積 85ha</p>	<p>事業名： 海士の森復活プロジェクト～搬出間伐で離島林業の未来を拓く～</p> <p>当地域は、戦後造成された人工林が間伐期を迎えているにもかかわらず、松くい虫によるマツ林の壊滅的な被害により、森林所有者の林業経営意欲が減退し、「離島」というハンディもあり、利用されずに放置されている。</p> <p>本事業では、効率的な搬出間伐と間伐材収入の確保を目指して、民有林の集約化を進め、離島におけるイニシャルコストの低い間伐材生産体制の構築と、多様な用途への木材販売収入の確保を図り、所有者への利益還元が出来る仕組みづくりを行っていくという取組みが評価された。</p>

<p>カルスト森林組合 (山口県)</p> <p>対象地面積 187ha</p>	<p>事業名： 国定公園及び周辺地域の「林業経営可能な里山再生」事業</p> <p>当地域は、秋吉台という魅力的な自然景観を有し、国定公園等に指定されて森林施業等の規制を受けていることなどから、景観等に配慮した適切な森林整備が求められているものの、放置林が多く、森林の劣化が進んでいる。</p> <p>本事業では、地元住民、行政等と連携し、法令の規制や美祢市森林整備計画等に留意した森林ゾーニング、森林整備方針等を検討し、これらに基づき、低コストでの路網整備、搬出間伐、木材のバイオマス用材等への有効活用に努め、持続可能な里山再生のモデル作りを目指すという取組みが評価された。</p>
<p><small>つしま</small> 対馬森林組合 (長崎県)</p> <p>対象地面積 190ha</p>	<p>事業名： 未利用材の有効利用等による経営放置林の再生（森林経営計画への参入を目指して）</p> <p>当地域は、水源かん養機能や生物多様性維持機能に配慮した適切な森林整備が求められる地域であるが、手入れ不足等による三股木等の形質不良木が多く、ほとんどの人工林が手付かずの状態で見捨てられている。</p> <p>本事業では、三股木等が多い低質な林分の搬出間伐を推進するため、より一層の素材生産の低コスト化、低質・未利用材の有効利用に努め、そのコスト等のデータ収集・分析・蓄積を行い、現地をモデル林として活用して計画的に放置林分の再生を図り、多面的機能の向上を目指すという取組みが評価された。</p>